

# スギ・ヒノキが植林された山

木材生産のために植えられたが、林業として立ち行かなくなり、管理されなくなった

- ※土の粒が重くて重い
- ※つぶすと細かい粒子に
- ※林床がいつも暗い
- ※栄養分が少ない
- ※新しい植物が育ちにくい
- ※更新がほとんどない
- ※表面にだけ通気性・優越性・貯水性がある

手入れされていないスギ・ヒノキ林の林床には草が生えにくく、土が流れ出しやすい。川底にヘドロがたまり、川底がたまる。水は地中にしみ込む事が出来ず、川の水量の増減が激しくなる。

雨が降ると泥水になり、草やコケを押し流してしまふ。泥水はだんだん力を増して、土石流の原因になる。

森を観察する目を養う

いい土はふんわり、キコクの匂い、よくない土は、すばい匂い

足で踏んだ所は、土が痛むため、基本的に踏んだ所に炭と落ち葉をまく。

火炙き杭は土壌微生物の住み処、空気、水の通り道になる

# 源流大

## 多摩川 源流大学

○水源の森再生プロジェクト○  
- 水源涵養力のある豊かな森づくりの実践 -  
見本林を作りました!

●2021年 第24回 日本水大賞 厚生労働大臣賞 受賞●

主催：NPO 法人多摩源流こすげ  
講師：高田宏臣氏 (NPO 法人地球守 顧問)  
技術協力：株式会社高田造園設計事務所・NPO 法人地球守  
後援：小菅村役場

菌糸や土壌微生物が土の中でいい仕事をしているのです!

菌糸は地下にネットワークがあり、菌木に糖分を与えています。草木の根は、菌糸の獲と追うように育つので!

菌糸のある土は団粒構造になる。この場所は水や空気は上へも下へも行けるのです!

木の根や草やコケが土の表面を覆って、土が流れるのを抑えています。木の根は地中深くから水を吸い上げたりもします

### 落ち葉

落ち葉は土壌微生物の食べ物になる。菌糸が生えやすくなる。

### 炭

炭は土壌微生物の住み処になる。竹炭やきものらくん炭を使う。

### 「グリグリ」

①炭をまいた地面をマイナスドライバーやシャベルで穴をあけ、②そこに木の葉を差し込む。より深い地中まで土が育つよう、至るところに施す。

### 基本的に山傾へ水がたまる場所、段切りする

道は等高線に沿ってつける。ただだら坂にしない。(水が流るから) 道をついたら落ち葉などで土壌を覆う。

### 「マウンド」

石ばかりで隙間を埋めるのは大変。瓦片があると便利。土が厚ければ、200年続く石畳になるかも。

# 昔ながらの山は多種混交林

# すこやかな山

- 土がふかふか
- 手でぎゅっとにぎると縮む
- 適度な湿気
- 林床が明るい
- 落葉や新芽の芽生えなど更新がある
- 地中深くまで通気性・優越性・貯水性がある



### 岩場は水の源

古くから岩場は神域として人々に守られてきた。岩の隙間に水が入り、菌糸が入ると、コケや木の根がそれを追いかける。大岩を抱く巨樹が多いのもこのため。わざわざ田舎、泥ぼりしないよう保たれたため、そこが水のみ込む場所になり、山を安定させてきた。

林に「疎・密」をつくと風が巻いて強風よけにもなるよ

### 「皮むき間伐」

木をパツパツに施し、光を入れる。(暗い林では新芽が育たないため) 除々に枯らし、光を入れる事で、伐倒時の急激な地面の変化を避ける。木材の重さも、1年で約半分、2年でまた約半分になり搬出も楽。

### 歩いてみてね!

全国から集まった、のべ350名の受講生と共に学びながら作りました!



今後も有志のボランティア「水源・森整備隊」として活動予定です

この事業は公益財団法人やまなし環境財団の助成を受けています